

ふるさと講座・歴史系第2回目のお知らせ！

「初冬の野鳥観察会 ユキホオジロを観察しよう」

この時期数多く見られる「ユキホオジロ」を中心とした観察会を行います。観察場所は、野付半島最後の番屋から徒歩で先端まで行ったところ。野鳥観察以外にも根室半島から知床半島までの雄大な風景を見ることが出来ます。ぜひ、ご参加ください。



- 日 時 平成27年12月5日（土）
午前10時～13時
- 場 所 野付半島（集合は野付半島ネイチャーセンター2階）
- 講 師 別海町立野付中学校 校長 藤井 薫 氏
- 申込等 12月4日（金）までに、電話・FAX・メールにてお名前と電話番号をお知らせください。
定員15名
- その他 防寒着・長靴を着用ください。図鑑・双眼鏡をお持ちの方は持参ください。
当館でも若干貸出しします。



ふるさと講座・歴史系第4回目「オンネニクルの森を歩こう」を実施しました。

10月18日（日）に野付半島の「オンネニクルの森を歩こう」を実施しました。参加者は22名、遠く札幌市から参加された方もいました。この森は、観光名所のナラワラ奥の森にあたります。国有林のため普段は立ち入ることは出来ません。大きなミズナラの大木や古代の遺跡がひっそりと眠っています。

今回は特別に、野付半島の地形・地質の調査を行っている産業技術総合研究所の七山太氏らの好意により、講座に同行いただき野付半島の地形・地質、その成り立ちについてお話を頂くことが出来ました。ネイチャーセンターでの説明の後、ナラワラ駐車場に車で移動し、海岸線や先日の台風により打ち上げられた大量の砂礫を観察しました。

オンネニクルの森に入ってから、イドチ岬チャシ跡、野付1.2遺跡を見学しました。途中で検土杖を使用し、江戸時代に噴火した樽前山（1739年）や駒ヶ岳（1694年）の火山灰を観察しました。

遺跡・地形・地質の巡検のほか、枯れ木の景観などを見ながら程よい距離を歩くことから、盛り沢山の内容となり大変好評でした。



床丹 1 チャシ跡の発掘調査 最終

詳細分布調査の実施！-その 2-

調査により、チャシ跡は、8 字状の壕に囲まれた複郭のチャシ跡で、壕の構築使用年代については、15 世紀初頭から中頃の年代が得られました。

さらに年代を裏付けるものとして、チャシ跡の頂部の郭内の北側と南側で、焼土（火を炊いた場所）が見つっています。それぞれ焼土に含まれていた炭化物の年代を測定すると 15 世紀中頃、16 世紀初頭から中頃の年代が得られました。焼土には、動物の骨なども含まれ、同定によりアサリ・ホタテガイ・ウバガイ・ムラサキウニ・スケソウタラ・イトウ・サケ・イヌ科の骨だということがわかり、当時の食生活の一端を知ることが出来ました。

以上、昨年調査しました床丹 1 チャシ跡の発掘調査についてご紹介してきましたが、部分的な調査のため全体を解明するには至りませんでした。測量調査、部分発掘調査、詳細分布調査により今まで知りえなかったことがわかり、大きな成果を上げました。また、今回の調査の原因である自然崩壊は今後も進むことから、様子を見ながら保護保存していかなければなりません。

本調査の詳細は『床丹 1 チャシ跡 自然崩壊に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』2005 別海町教育委員会をご覧ください。

「別海町の農業の変遷をたどるジオラマ」移動展！

10 月 1 日 (木)～11 月 6 日 (金)まで中央公民館フリーギャラリーにて当館で制作した「別海町の農業の変遷をたどるジオラマ」を展示しておりますので、ぜひ、ご覧下さい。

「初期の住宅に住んでいました。なつかしいです。」「細かいところがスゴイ」など多くの感想が寄せられています。今後もこうした移動展を行いたいと思いますので、希望がありましたらご連絡下さい。



矢印が焼土



別海町郷土資料館だより No.196

発行日 平成27年11月1日

発行所 別海町郷土資料館

別海町別海宮舞町 30 番地

電話 0153-75-0802 (FAX 兼)

e-mail kyoudo@betsukai.jp

編集後記

ジオラマの移動展は、中央公民館ということで、沢山の人が足をとめて見て頂いているようです。感想も多く寄せられ感謝申し上げます。農業の次は漁業の様子かと思案中ですが、現在は本日よりで紹介しました。床丹 1 チャシ跡のジオラマを作成中です。乞うご期待下さい。(K.I)